

企業が実施すべき情報漏洩対策とは...

1 クライアントサイドのウイルスチェックは必須

対策をしているつもりでも感染するのがウイルスのやっかいな点です。ファイアウォール等でゲートウェイを守っても、従業員が自宅で使っているPCを持ち込むケース等、インターネット以外の経路までは防ぐ事は出来ません。

より確実にデータを守る為には、ゲートウェイだけでなく**各クライアントPCやサーバにもセキュリティソフト**を導入する必要があります。管理者への負担はソフトと共に提供されている管理者用ツールを利用すれば軽減可能です。

更に**検疫ネットワーク**を導入すれば、ウイルス対策に加えて、OSのセキュリティパッチが適用されていないパソコンも手間をかけずにチェック出来る様になります。十分なセキュリティが整うまではLANへの接続が認められないのでより高い安全性を確保出来るという訳です。

尚、セキュリティパッチを導入していればウイルスに感染しないと考えているユーザーもいますが、それは**明らかな間違い**でパッチの提供が開始される前にウイルスが登場する「ゼロデイアタック」が頻繁に起こっています。又、Microsoftによる延長サポートが7月に終了したWindows98やMeでは、そもそもパッチの提供自体が今後は行われません。**ウイルス対策は必須です！！**

不正侵入もインターネット上の大きな脅威。去年はデータベースの脆弱性をついたWebサーバへの不正侵入事件が相次ぎましたが、企業が稼働させているWebアプリケーションのほとんどは、今でも**何らかの脆弱性**を抱えているといわれています。又、たとえアプリケーションに欠陥がなくても、大量の通信でWebサーバの働きを麻痺させるDDoS攻撃の様な脅威もあります。

あらゆる攻撃を**完全に防ぐ手だてというものは存在しません**が、Webアプリケーションの脆弱性検査をSIerに依頼したり、ファイアウォールの弱点を補うIDS(侵入検知システム)やIPS(侵入防止システム)を導入する事で、**安全性を大きく向上**させる事が可能です。

2 従業員の不注意を補う対策が急務

内閣府が6月に公表した報告書によると個人情報の漏洩をもっとも多く引き起こしているのは委託先でも第三者でもなく**従業員**なのです。しかも、その原因は大半が**不注意**！！

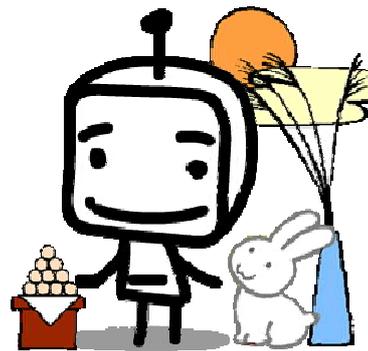
人混みでUSBメモリーを紛失する。PCを電車で置き忘れる。メールの送信先を間違える。人間である以上、ミスは100%排除する事は不可能ですが、重要なのはミスを犯してもそれが直ちに情報漏洩につながらない様な防御策を講じておく事です。しかし、内閣府の調査ではそれが殆ど実行されていない事が明らかになっています。

まず始めに行いたいのが**データの洗い出し**。フォルダの最後の階層まで、あるいは古いメールの添付ファイルまでくまなく探し、使う当てのないデータは捨ててしまいましょう。数年も使っているPCなら思わぬところに重要な情報が残っていたりするものです。個人情報と思いきデータを自動的に探し出してくれるソフトもあるので活用しても良いでしょう。又データを削除する際には、ゴミ箱から削除するだけでなく**消去ソフト**を使って痕跡も残らないようにする事。紛失や盗難に備えるには、普段から不要になったデータはこまめに消去する習慣を身に付けておくべきでしょう。

第三者によるPCの不正使用を防ぐには、**ログインPW**を設定しスクリーンセーバーの解除時にもPW入力が求められるよう設定する。ただしログインを制限しただけでは、HDDを取り出して他のPCに接続するなどして簡単にデータを読み出されてしまいます。重要なデータには**暗号化**を施しておきましょう。この様な物理的な対策に加え、メールの誤送信などを防ぐ手立ても必要になります。クライアントPCから送信されたメールをゲートウェイでチェックする**メールのフィルタリング**が有効です。あらかじめ設定したポリシーに違反する点が見つければ送信を遮断したり、管理者に警告を発したりすることが出来ます。最近では、WebメールやSNSを社内から利用するユーザーが増えているので、**Webのフィルタリング**も同時に導入したい所です。

又個人情報の流出経路としてもっとも大きいのは**紙媒体**で、全体の半分以上を占めていて原因では**紛失・置き忘れ**がやはり全体の半数近くを占めてトップだと言われています。紙媒体と言っても様々なものがありますが、特に注意したいのは**プリンタ**から出力された文書。データそのものも重要ですが、それを保存したり印刷したメディアの管理をまず徹底すべきでしょう。

セキュリティ対策には「これで安心」と断言出来る**ゴールはありません**。しかし企業規模や事業内容、予算に応じ現時点での**最適解**、或は**目標とすべき水準**が存在するはずなのです。



アイ・シー・キューブでは、企業の競争力を高め、その成長と繁栄を支援する為の情報提供を中小企業向けのセミナー及びイベントを多数主催しています。是非ご参加頂きビジネスにお役立て下さい。

株式会社
アイ・シー・キューブ

水戸市南町3-3-43
小林ビル5F

TEL 029-228-0116

FAX 029-233-0882

お気軽にお問い合わせ下さい

担当 石川